

平成24年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月6日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 ウィル  
 コード番号 3241 URL <http://www.wills.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役  
 四半期報告書提出予定日 平成24年8月13日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 岡本 俊人  
 (氏名) 栗野 泉

TEL 0797-74-7272

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年12月期第2四半期の連結業績(平成24年1月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

|              | 売上高   |       | 営業利益 |      | 経常利益 |       | 四半期純利益 |       |
|--------------|-------|-------|------|------|------|-------|--------|-------|
|              | 百万円   | %     | 百万円  | %    | 百万円  | %     | 百万円    | %     |
| 24年12月期第2四半期 | 1,438 | 43.5  | 129  | 63.3 | 113  | 114.5 | 90     | 93.2  |
| 23年12月期第2四半期 | 1,002 | △10.7 | 79   | 63.5 | 52   | 350.0 | 47     | 847.5 |

(注)包括利益 24年12月期第2四半期 90百万円 (93.2%) 23年12月期第2四半期 47百万円 (847.5%)

|              | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|--------------|-------------|--------------------|
|              | 円 銭         | 円 銭                |
| 24年12月期第2四半期 | 8,035.62    | —                  |
| 23年12月期第2四半期 | 4,158.41    | —                  |

(2) 連結財政状態

|              | 総資産   | 純資産 | 自己資本比率 |
|--------------|-------|-----|--------|
|              | 百万円   | 百万円 | %      |
| 24年12月期第2四半期 | 2,577 | 695 | 27.0   |
| 23年12月期      | 2,661 | 623 | 23.4   |

(参考)自己資本 24年12月期第2四半期 695百万円 23年12月期 623百万円

2. 配当の状況

|             | 年間配当金  |        |        |          |          |
|-------------|--------|--------|--------|----------|----------|
|             | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末       | 合計       |
|             | 円 銭    | 円 銭    | 円 銭    | 円 銭      | 円 銭      |
| 23年12月期     | —      | 0.00   | —      | 1,650.00 | 1,650.00 |
| 24年12月期     | —      | 0.00   | —      | —        | —        |
| 24年12月期(予想) | —      | —      | —      | 2,100.00 | 2,100.00 |

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年12月期の連結業績予想(平成24年1月1日～平成24年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

|    | 売上高   |      | 営業利益 |      | 経常利益 |      | 当期純利益 |      | 1株当たり当期純利益 |
|----|-------|------|------|------|------|------|-------|------|------------|
|    | 百万円   | %    | 百万円  | %    | 百万円  | %    | 百万円   | %    | 円 銭        |
| 通期 | 3,912 | 28.5 | 290  | 17.4 | 250  | 28.0 | 230   | △7.3 | 20,357.09  |

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 有
  - ④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細については、四半期決算短信【添付資料】4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

|                     |           |          |           |          |
|---------------------|-----------|----------|-----------|----------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 24年12月期2Q | 11,308 株 | 23年12月期   | 11,308 株 |
| ② 期末自己株式数           | 24年12月期2Q | — 株      | 23年12月期   | — 株      |
| ③ 期中平均株式数(四半期累計)    | 24年12月期2Q | 11,308 株 | 23年12月期2Q | 11,308 株 |

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続を実施しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。そのため、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】4ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

|                                    |      |
|------------------------------------|------|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....           | P. 2 |
| (1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....          | P. 2 |
| (2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....          | P. 3 |
| (3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....          | P. 4 |
| 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....        | P. 4 |
| (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....  | P. 4 |
| (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....  | P. 4 |
| (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 ..... | P. 4 |
| 3. 四半期連結財務諸表 .....                 | P. 5 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 .....               | P. 5 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 ..... | P. 6 |
| 四半期連結損益計算書                         |      |
| 第2四半期連結累計期間 .....                  | P. 6 |
| 四半期連結包括利益計算書                       |      |
| 第2四半期連結累計期間 .....                  | P. 7 |
| (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....        | P. 8 |
| (4) 継続企業の前提に関する注記 .....            | P. 9 |
| (5) セグメント情報等 .....                 | P. 9 |
| (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....   | P. 9 |

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、復興需要及び各種政策が経済を下支えし、個人消費が堅調に推移するなど、景気は緩やかに回復しつつありました。一方で、欧州債務不安の再燃並びに新興国の経済成長に減速が懸念されるなど、今後の経済見通しには不確実性が存在し、景気回復シナリオに下振れリスクが懸念されはじめました。

不動産関連業界におきましては、住宅ローンの金利水準が極めて低位で推移していること、住宅価格の底打ち期待が高まりつつあることなどが住宅取得を後押しする動機となり、これまでの買い控えの反動を含めて堅調に推移しました。そのなかでも、現在の雇用環境における所得水準は依然として低位であることから、割安感のある中古住宅に対する需要が高まり、近畿圏における中古住宅の取扱件数は前年同期比8.6%増加いたしました。

このような環境のなかで当社グループにおきましては、事業セグメントごとの営業効率向上はもとより、グループの総力を結集させた「住まいのワンストップサービス」の強化戦略を推進することで、事業間の連携によるシナジー効果を発揮し、企業価値の最大化に努めてまいりました。

具体的には、投下資本の回転期間が短く利益率の高い事業群「フィービジネス及びリフォーム」を強化することで、安定的かつ継続的な成長を可能にする強固な収益基盤を構築するとともに、相応の期間を要する自社分譲開発の展開により、街づくりを通じたブランド化並びに売上規模の拡大に取り組んでまいりました。このような事業ポートフォリオの構築により、最適な資本配分を重視した事業を展開することで、経済動向に左右されにくい事業基盤を確立するとともに、グループ全体で付加価値を高めてまいりました。

これらの結果、当社グループの当第2四半期連結累計期間における業績は、売上高1,438百万円（前年同期比43.5%増）、営業利益129百万円（前年同期比63.3%増）、経常利益113百万円（前年同期比114.5%増）、四半期純利益90百万円（前年同期比93.2%増）となりました。

報告セグメントの概況は、次のとおりであります。

#### (流通事業)

流通事業におきましては、新規店舗出店による集客窓口の拡大、平日会員向け仲介手数料30%キャッシュバックサービスの推進並びに自社にて独自開発した物件検索サイトの強化などの集客戦略が奏功し、住宅を購入される顧客の当社営業所への来場数が前年同期比50.4%増加いたしました。これにより、中古住宅の取扱件数が前年同期比55.0%増加するなど、「フィービジネス及びリフォーム」の起点となる集客エンジンの役割を十分に果たし、リフォームを提案する営業機会の増加や、損害保険、ローン事務代行などを中心としたファイナンシャルプランニング業務の取扱件数の増加など、グループ全体の営業効率並びに収益率向上に大きく寄与しております。

また、売買仲介における手数料効率を向上させるために、購入顧客の集客とともに、売却顧客の獲得にも注力してまいりました。

なお、平成24年4月に新規店舗をオープンし、初期費用が一時的に発生しております。

この結果、売上高は291百万円（前年同期比8.3%増）、営業利益は101百万円（前年同期比6.6%減）となりました。

#### (リフォーム事業)

リフォーム事業におきましては、中古住宅の購入と同時にリフォームを提案する営業スタイルを確立しておりますことから、流通事業における中古住宅の取扱件数が前年同期比55.0%増加したことに連動し、リフォームの受注件数も前年同期比53.6%増加いたしました。その上で、昨年度からの受注残高に加え、新規受注分の引渡しも順調に進捗いたしました。

また、事業シナジーを利用した広告宣伝費をかけない集客手法の推進はもちろん、営業から設計、施工管理までを一元管理する組織体制の構築などにより、営業効率の向上にも注力してまいりました。

この結果、売上高は366百万円（前年同期比74.4%増）、営業利益は73百万円（前年同期比199.0%増）となりました。

#### (開発分譲事業)

開発分譲事業におきましては、既存物件の早期販売に努めるとともに、新たな戸建分譲用地の確保に注力してまいりました。

まず既存物件の販売状況については、全住戸の契約が完了していた三田市の戸建分譲は、順次引渡しを進めており、残1戸の引渡しを残すのみとなりました。また、神戸市垂水区の戸建分譲は、昨年1年間の契約戸数が14戸に対して、当第2四半期までに9戸の契約が完了しており、販売戦略の転換が奏功し、前年を上回る販売ペースで進捗いたしました。

次に仕入活動については、販売効率の最大化を目的に流通事業の店舗周辺に小規模の戸建分譲開発を展開する戦略を推進してまいりました。なお、第2四半期末時点で6現場の戸建て分譲用地を確保しており、下半期の販売開始に向けて企画立案にも取り組んでまいりました。

この結果、売上高は701百万円（前年同期比67.2%増）、営業利益は29百万円（前年同期営業損失5百万円）となりました。

（受託販売事業）

受託販売事業におきましては、自社開発の戸建物件の販売に人員を手厚く配置しておりましたが、その間、培った販売ノウハウと販売実績が評価され、新規の戸建物件の販売依頼が増加してまいりました。その中から収益を見込める物件を検討したうえで、前年度より新築戸建物件の販売受託を徐々に再開しております。

この結果、売上高は8百万円（前年同期比41.8%減）、営業利益は1百万円（前年同期比73.8%減）となりました。

（不動産取引派生事業）

不動産取引派生事業におきましては、流通事業における不動産売買仲介の取扱件数の増加を受けて、損害保険、ローン事務代行などを中心としたファイナンシャルプランニング業務の取扱件数は前年同期比22.6%増加いたしました。また、これまでの経験で蓄積した豊富なファイナンスのスキルを活かして、ワンストップサービスにおける新たな集客窓口の確立にも取り組んでまいりました。

なお、当第2四半期連結累計期間において、販売受託に連動した広告業務の受注は少額でありました。

この結果、売上高は63百万円（前年同期比23.2%減）、営業利益は42百万円（前年同期比25.1%減）となりました。

（その他）

その他については、売上高5百万円（前年同期比21.0%増）、営業利益5百万円（前年同期比84.8%増）を計上しております。

これは広告部門において、ホームページの制作を受注した売上を計上しております。

（2）連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の概況

当第2四半期連結会計期間末における総資産の残高は、前連結会計年度末より83百万円減少し、2,577百万円となりました。

流動資産の残高は、前連結会計年度末より90百万円減少し、1,295百万円となりました。主な要因といたしましては、販売用物件の販売進捗等により販売用不動産が283百万円、現金及び預金が16百万円並びに繰延税金資産が7百万円それぞれ減少したことが、戸建分譲用地の新規仕入並びに既存プロジェクトの開発工事が進捗したことなどによる未成工事支出金205百万円、リフォームの引渡しが6月末に集中したことにより売掛金が9百万円それぞれ増加したことを吸収したものであります。

固定資産の残高は、前連結会計年度末より6百万円増加し、1,281百万円となりました。主な要因といたしましては、平成24年4月に新規オープンした店舗の設備取得により建物が7百万円及び長期前払費用が2百万円、社用車の買い替え等により車両運搬具が1百万円それぞれ増加し、減価償却の実施等による減価償却累計額5百万円の増加を吸収したものであります。

流動負債の残高は、前連結会計年度末より137百万円減少し、951百万円となりました。主な要因といたしましては、開発分譲物件の引渡しに連動して返済する借入金並びに設備資金等の約定返済により1年内返済予定の長期借入金が107百万円、未払費用が20百万円、自社開発物件の引渡しに伴い契約時に受領していた手付金を売上に振り替えたことにより前受金が13百万円それぞれ減少したことによりです。なお、短期借入金については、開発分譲物件に連動した返済等により170百万円減少しておりますが、戸建分譲用地仕入に伴う新規借入金170百万円を実施したことにより、純増減額としては相殺されております。

固定負債の残高は、前連結会計年度末より17百万円減少し、930百万円となりました。その要因といたしましては、新規の長期借入金を98百万円実施した一方で約定返済並びに1年内返済予定へ118百万円を振り替えたことにより長期借入金が19百万円減少したことが、新規出店に関する資産除去債務2百万円の増加を吸収したことによっております。

純資産の残高は、前連結会計年度末より72百万円増加し、695百万円となりました。これは、四半期純利益を90百万円計上した一方で、配当金18百万円の支払いを実施したことにより利益剰余金が72百万円増加したものであります。

②キャッシュ・フローの状況に関する分析

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ16百万円減少し、214百万円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とその要因は以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローにつきましては、税金等調整前四半期純利益113百万円に対し、販売用物件の販売進捗による283百万円の減少が、戸建分譲用地の新規仕入等による205百万円の増加を吸収したことを要因としてたな卸資産の減少78百万円、減価償却費13百万円によりそれぞれ資金が増加した一方、未払費用の減少により22百万円、前受金の減少により13百万円、法人税等の支払額10百万円並びに売上債権の増加9百万円によりそれぞれ資金が減少したことを要因として、146百万円の資金増加（前年同期は103百万円の資金増加）となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローにつきましては、平成24年4月に新規オープンした店舗の設備並びに社用車の買い替えによる有形固定資産の取得による支出を主たる要因として16百万円の資金減少（前年同期は49百万円の資金減少）となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローにつきましては、開発分譲物件の引渡しに連動して返済する借入金並びに設備資金等の返済として長期借入金（1年内返済予定の長期借入金を含む）226百万円、配当金の支払額18百万円の資金がそれぞれ減少したことが、新規借入の実施による長期借入金98百万円の資金増加を吸収したことにより、146百万円の資金減少（前年同期は90百万円の資金減少）となりました。

なお、短期借入金については、開発分譲物件の引渡し等により170百万円の資金が減少した一方で、戸建分譲用地の仕入用に借入金を実施したことにより170百万円の資金が増加したため、純増減額としては相殺されております。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

通期の見通しは、収益基盤の柱である事業群「フィービジネス及びリフォーム」の業績は引き続き堅調に推移するものと予想しております。特に、リフォーム事業においては、第2四半期末時点で358百万円の受注残高があるため、第2四半期連結累計業績とあわせて、通期では既に、前年一年間の売上高に対し16.4%上回る引渡しを予定していることとなります。

しかしながら、下半期の経営環境においては、様々な景気下振れリスクが存在しているため、現時点においては平成24年2月20日発表の通期業績予想を据え置くこととし、今後の営業進捗を睨みつつ、業績予想の修正が必要であると判断した時点で、すみやかに開示いたします。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計方針の変更）

減価償却方法の変更

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第2四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

この変更に伴う、損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

|               | 前連結会計年度<br>(平成23年12月31日) | 当第2四半期連結会計期間<br>(平成24年6月30日) |
|---------------|--------------------------|------------------------------|
| <b>資産の部</b>   |                          |                              |
| 流動資産          |                          |                              |
| 現金及び預金        | 230                      | 214                          |
| 受取手形及び売掛金     | 120                      | 130                          |
| 販売用不動産        | 805                      | 521                          |
| 未成工事支出金       | 144                      | 349                          |
| 未成業務支出金       | 0                        | 0                            |
| 繰延税金資産        | 65                       | 58                           |
| その他           | 19                       | 21                           |
| 流動資産合計        | 1,385                    | 1,295                        |
| 固定資産          |                          |                              |
| 有形固定資産        |                          |                              |
| 建物及び構築物       | 545                      | 552                          |
| 土地            | 852                      | 852                          |
| その他           | 71                       | 73                           |
| 減価償却累計額       | △242                     | △247                         |
| 有形固定資産合計      | 1,227                    | 1,231                        |
| 無形固定資産        | 1                        | 2                            |
| 投資その他の資産      | 46                       | 48                           |
| 固定資産合計        | 1,275                    | 1,281                        |
| 資産合計          | 2,661                    | 2,577                        |
| <b>負債の部</b>   |                          |                              |
| 流動負債          |                          |                              |
| 支払手形及び買掛金     | 186                      | 197                          |
| 短期借入金         | 268                      | 267                          |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 325                      | 217                          |
| 未払法人税等        | 12                       | 17                           |
| その他           | 297                      | 251                          |
| 流動負債合計        | 1,089                    | 951                          |
| 固定負債          |                          |                              |
| 長期借入金         | 947                      | 927                          |
| 資産除去債務        | —                        | 2                            |
| 固定負債合計        | 947                      | 930                          |
| 負債合計          | 2,037                    | 1,881                        |
| <b>純資産の部</b>  |                          |                              |
| 株主資本          |                          |                              |
| 資本金           | 269                      | 269                          |
| 資本剰余金         | 190                      | 190                          |
| 利益剰余金         | 164                      | 236                          |
| 株主資本合計        | 623                      | 695                          |
| 純資産合計         | 623                      | 695                          |
| 負債純資産合計       | 2,661                    | 2,577                        |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位: 百万円)

|                 | 前第2四半期連結累計期間<br>(自 平成23年1月1日<br>至 平成23年6月30日) | 当第2四半期連結累計期間<br>(自 平成24年1月1日<br>至 平成24年6月30日) |
|-----------------|---|---|
| 売上高             | 1,002   | 1,438   |
| 売上原価            | 758   | 1,126   |
| 売上総利益           | 244   | 311   |
| 販売費及び一般管理費      | ※ 165   | ※ 181   |
| 営業利益            | 79  | 129   |
| 営業外収益           |   |   |
| 受取利息            | 0   | 0   |
| 受取配当金           | 0   | 0   |
| その他             | 0   | 1   |
| 営業外収益合計         | 0   | 1   |
| 営業外費用           |   |   |
| 支払利息            | 25  | 14  |
| その他             | 0   | 3   |
| 営業外費用合計         | 26  | 17  |
| 経常利益            | 52  | 113   |
| 税金等調整前四半期純利益    | 52  | 113   |
| 法人税、住民税及び事業税    | 5   | 15  |
| 法人税等調整額         | 0   | 7   |
| 法人税等合計          | 5   | 22  |
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 47  | 90  |
| 少数株主利益          | —   | —   |
| 四半期純利益          | 47  | 90  |



(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

|                 | 前第2四半期連結累計期間<br>(自 平成23年1月1日<br>至 平成23年6月30日) | 当第2四半期連結累計期間<br>(自 平成24年1月1日<br>至 平成24年6月30日) |
|-----------------|---|---|
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 47  | 90  |
| 四半期包括利益         | 47  | 90  |
| (内訳)            |   |   |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 47  | 90  |

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

|                         | 前第2四半期連結累計期間<br>(自 平成23年1月1日<br>至 平成23年6月30日) | 当第2四半期連結累計期間<br>(自 平成24年1月1日<br>至 平成24年6月30日) |
|-------------------------|---|---|
| <b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b> |   |   |
| 税金等調整前四半期純利益            | 52  | 113   |
| 減価償却費                   | 11  | 13  |
| 受取利息及び受取配当金             | △0  | △0  |
| 支払利息                    | 25  | 14  |
| 売上債権の増減額 (△は増加)         | △33   | △9  |
| たな卸資産の増減額 (△は増加)        | 159   | 78  |
| 仕入債務の増減額 (△は減少)         | △48   | 10  |
| 未払金の増減額 (△は減少)          | △14   | △4  |
| 未払費用の増減額 (△は減少)         | △10   | △22   |
| 前受金の増減額 (△は減少)          | 16  | △13   |
| 預り金の増減額 (△は減少)          | △19   | △2  |
| その他                     | △6  | △6  |
| 小計                      | 133   | 171   |
| 利息及び配当金の受取額             | 0   | 0   |
| 利息の支払額                  | △24   | △15   |
| 法人税等の支払額                | △5  | △10   |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー        | 103   | 146   |
| <b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b> |   |   |
| 有形固定資産の取得による支出          | △49   | △15   |
| 有形固定資産の売却による収入          | —   | 0   |
| 無形固定資産の取得による支出          | —   | △0  |
| 出資金の払込による支出             | —   | △0  |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー        | △49   | △16   |
| <b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b> |   |   |
| 短期借入金の純増減額 (△は減少)       | 96  | △0  |
| 長期借入れによる収入              | —   | 98  |
| 長期借入金の返済による支出           | △187  | △226  |
| 配当金の支払額                 | △0  | △18   |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー        | △90   | △146  |
| 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)    | △36   | △16   |
| 現金及び現金同等物の期首残高          | 138   | 230   |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高        | ※ 101   | ※ 214   |

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成23年1月1日 至平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

|                         | 報告セグメント |       |      |      |             |     | その他<br>(注) 1 | 合計    | 調整額<br>(注) 2 | 四半期連結<br>損益計算書<br>計上額<br>(注) 3 |
|-------------------------|---------|-------|------|------|-------------|-----|--------------|-------|--------------|--------------------------------|
|                         | 流通      | リフォーム | 開発分譲 | 受託販売 | 不動産<br>取引派生 | 計   |              |       |              |                                |
| 売上高                     |         |       |      |      |             |     |              |       |              |                                |
| 外部顧客への売上高               | 269     | 210   | 419  | 15   | 82          | 997 | 4            | 1,002 | —            | 1,002                          |
| セグメント間の内部売上<br>高又は振替高   | 1       | —     | —    | —    | —           | 1   | —            | 1     | △1           | —                              |
| 計                       | 270     | 210   | 419  | 15   | 82          | 998 | 4            | 1,003 | △1           | 1,002                          |
| セグメント利益又は<br>セグメント損失(△) | 108     | 24    | △5   | 6    | 56          | 190 | 3            | 193   | △114         | 79                             |

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、リノベーション事業及び販売物件以外の広告代理業務等を含んでおります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△114百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

|                       | 報告セグメント |       |      |      |             |       | その他<br>(注) 1 | 合計    | 調整額<br>(注) 2 | 四半期連結<br>損益計算書<br>計上額<br>(注) 3 |
|-----------------------|---------|-------|------|------|-------------|-------|--------------|-------|--------------|--------------------------------|
|                       | 流通      | リフォーム | 開発分譲 | 受託販売 | 不動産<br>取引派生 | 計     |              |       |              |                                |
| 売上高                   |         |       |      |      |             |       |              |       |              |                                |
| 外部顧客への売上高             | 291     | 366   | 701  | 8    | 63          | 1,432 | 5            | 1,438 | —            | 1,438                          |
| セグメント間の内部売上<br>高又は振替高 | 1       | —     | —    | 0    | —           | 1     | —            | 1     | △1           | —                              |
| 計                     | 292     | 366   | 701  | 9    | 63          | 1,434 | 5            | 1,440 | △1           | 1,438                          |
| セグメント利益               | 101     | 73    | 29   | 1    | 42          | 247   | 5            | 253   | △123         | 129                            |

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、リノベーション事業及び当社が行う広告代理業務(受託販売物件に関するものを除く)等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△123百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。